

第2回

旭区大宮・古市地域史づくり

ワークショップ・ニュース

平成18年10月19日(木)、旭区民センターにおいて大宮・古市の歴史を発掘する地域史の作成を目的としたワークショップの第2回を開催しました。

このワークショップは、地域史の作成を通じて、これまで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、コミュニティのさらなる向上を目指すものと考えています。

2回目となる本ワークショップは、前回のワークショップをふまえ、どのようなテーマで地域史づくりを行うか、また今後の進め方などについても各班でまとめるということを目指して開催しました。具体的なテーマづくりを見つけるため、大宮班はヒアリングに出かけ、古市班は前回の内容を深めるため、時間をかけて議論を行いました。

大宮班

<活動の内容>

善立寺ヒアリング

大宮二丁目にある善立寺の前ご住職に、お寺や地域の歴史について、貴重なお話をお聞きすることができました。



大宮班
ヒアリング
の様子

このヒアリングをもとに「南島」というキーワードが浮かびました。現在でも電柱に「ミナミジマ」という地名の名残を見ることができます。またその昔、水路を利用して地域の特産品を船場まで運んだことから、生活と水についても議論を交わしました。

古市班

<議論のポイント>

テーマの設定

地域史のテーマを決めるために、知りたいこと、調べたいことを出し合い、議論を交わしました。



古市班
議論の様子

前回決まった「古市」の名が示す範囲の変遷に加えて、京阪電車の歴史やそれにまつわる話を中心に、街並みや千林商店街の移り変わり、昔の井路川(水路)の位置、現在も残っている古い長屋について参加者で調べ、まとめていくことになりました。

次回、第3回ワークショップは、平成18年11月20日(月)に開催します。

本内容に関するお問い合わせは
大阪市旭区役所区民企画室まで tel06 (6957) 9734